

# 令和元年5月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km<sup>2</sup>)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,546	8,862	4,518	4,344	63	70
2 千 石	4,015	6,816	3,402	3,414	27	24
3 内 山	5,674	7,816	4,132	3,684	62	57
4 大 和	3,423	6,726	3,324	3,402	88	139
5 上 野	7,347	15,432	7,675	7,757	121	158
6 高 見	7,414	13,499	6,460	7,039	78	50
7 春 岡	6,937	10,987	5,774	5,213	34	5
8 田 代	11,567	22,026	10,618	11,408	68	186
9 東 山	10,419	19,540	9,630	9,910	80	121
10 見 付	4,386	8,120	4,075	4,045	58	63
11 星 ケ 丘	3,538	6,904	3,133	3,771	9	47
12 自 由 ケ 丘	3,514	7,144	3,253	3,891	△ 1	△ 21
13 富 士 見 台	6,489	15,379	7,147	8,232	37	63
14 宮 根	3,828	8,251	3,927	4,324	9	△ 3
15 千 代 田 橋	3,655	8,437	3,964	4,473	1	1
千 種 区 計	87,752	165,939	81,032	84,907	734	960
H30.5.1	87,258	166,103	81,183	84,920	738	998
対 前 年 比	494	△ 164	△ 151	△ 13	△ 4	△ 38
名 古 屋 市	1,114,179	2,324,793	1,148,182	1,176,611	6,095	7,147
愛 知 県 ( H31.4.1 )	3,214,595	7,535,607	3,769,886	3,765,721	10,338	△ 6,280

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	82	118	△ 36	2,462	1,466	996

【参考】	国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
	昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
	昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
	平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
	平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

## 千種区の世帯数と人口増減の概況

令和元年5月1日現在の千種区の世帯数は前月比734世帯増の87,752世帯となっており、人口は前月比960人増の165,939人となっています。今回は千種区の世帯数と人口増減の内訳を学区単位で見えていきます。

平成30年10月現在の千種区の学区別世帯数は、多い方から田代学区(11,583世帯)、東山学区(10,334世帯)、高見学区(7,382世帯)となっています。世帯増加率(対平成21年10月比)を見てみると、千種区全体では11.2%で名古屋市全体(8.9%)を上回っています。千種区の学区別世帯増加率を大きい順に並べると、内山、千石、高見、春岡、千種、自由ヶ丘学区の順になります(図1)。

また、平成30年10月現在の千種区の学区別人口数は、多い方から田代学区(22,081人)、東山学区(19,458人)、富士見台学区(15,396人)となっています。人口増加率(対平成21年10月比)を見てみると、千種区全体では5.1%で名古屋市全体(2.8%)を上回っています。千種区の学区別人口増加率を大きい順に並べると、内山(+24.6%)、千石(+14.3%)、高見(+13.8%)、春岡(+11.0%)、千種(+7.9%)、田代(+6.1%)学区の順となります。

